

乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診のお知らせ

対象者 乳がん検診 → 40歳以上の女性で昨年度受診していない方
 子宮頸がん検診 → 20歳以上の女性で昨年度受診していない方
 大腸がん検診 → 40歳以上で乳がん・子宮頸がん検診と併せて受診希望の方、40歳以上の男性

*定員に余裕がある場合は、対象にならない方の申し込みを受け付けますが、検診料金は全額自己負担となります。金額については健康増進課あるいは日高総合支所地域住民課へお問い合わせください。

日程

7月15日(金)	7月30日(土)	8月25日(木)
こもればいホール	富川公会堂	札幌がん検診センター
<p><u>乳がん検診のみです</u></p> <p>(午前) 乳がん検診 50名</p> <p>(受付時間)</p> <p>① 8:30～ 9:00 ② 9:30～10:00</p>	<p>(午前) 乳がん検診 50名 子宮頸がん検診 130名</p> <p>(午後) 乳がん検診 40名 子宮頸がん検診 100名</p> <p>(受付時間)</p> <p>① 8:45～ 9:00 ② 10:15～10:30 ③ 12:45～13:00 ④ 13:45～14:00</p> <p>※ご希望があれば、日高地区より送迎します。受付時間は②となります。</p>	<p>乳がん検診 定員25名 子宮頸がん検診 定員25名</p> <p>(当日の予定)</p> <p>9:00頃 日高総合支所発 10:00頃 日高町役場出発 12:00頃 検診センター到着 昼食(※各自で用意)</p> <p>13:00頃 検診開始 15:00頃 検診終了 17:00頃 日高町</p> <p>※無料送迎します。</p>

今後の予定

10月28日(金)	門別公民館
11月9日(水)	札幌がん検診センター
11月24日(木)	厚賀会館 (乳がんのみ、特定健診・がん検診と同時開催)

自己負担金および検査内容

乳がん検診	(40～49歳) 2,000円 (50歳以上) 1,700円	乳房のエックス線撮影をします。40～49歳は2方向、50歳以上は1方向のエックス線撮影をします。 ※平成29年3月31日を年齢基準日とします。
子宮頸がん検診	1,600円	子宮頸部の細胞をとって調べます。
子宮体部がん検診	700円	子宮体部の細胞をとって調べます。(該当者のみ)
婦人科超音波検査 <small>ちようおんぱ</small>	1,000円	膣の中から超音波の機械を当てる検査です。(希望者のみ)
大腸がん検診	800円	2日分の便を取り、潜血反応がないか調べます。

*ただし、生活保護世帯の方、町民税非課税世帯の方、40歳(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日生まれ)の方は無料です。

生活保護・非課税世帯の方は、課税状況を調査しますので同意書の提出が必要です。印鑑をご持参のうえ、本庁健康増進課、厚賀出張所、水・くらしサービスセンター、日高総合支所地域住民課へお越しください。

※次の年齢の方は「検診手帳」（新規受診者のみ）と「がん検診無料クーポン券」が配布され、今年度の子宮頸がん検診あるいは乳がん検診を無料で受けることができます。年齢基準日は、平成28年4月1日です。

（子宮体部がん検診や婦人科超音波検査を実施した場合は、自己負担金がかかります）

子宮頸がん検診
無料クーポン券対象者

20歳（平成 7年4月2日～平成 8年4月1日生まれ）の女性
25歳（平成 2年4月2日～平成 3年4月1日生まれ）の女性
30歳（昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれ）の女性
35歳（昭和55年4月2日～昭和56年4月1日生まれ）の女性
40歳（昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生まれ）の女性

乳がん検診
無料クーポン券対象者

40歳（昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生まれ）の女性
45歳（昭和45年4月2日～昭和46年4月1日生まれ）の女性
50歳（昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生まれ）の女性
55歳（昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれ）の女性
60歳（昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ）の女性

※お子様と一緒に受診される方のために、子どもが遊べるスペースをご用意しています。託児を希望される方はご相談ください。ご不明な点等があれば、下記までお問い合わせください。

【申込み・お問い合わせ】

日高町役場 健康増進課健康増進グループ 電話 (01456) 2-6571
日高総合支所 地域住民課健康・介護グループ 電話 (01457) 6-3173

*申込期間は、**6月1日(水)～7月1日(金)**です。ただし定員になり次第締め切ります。

5月31日は世界禁煙デーです

禁煙週間 平成28年5月31日～平成28年6月6日

「世界禁煙デー」は、たばこを吸わない習慣を社会に広めることを目的として、世界保健機関(WHO)の決議により昭和63年に設けられました。厚生労働省においても、平成4年から世界禁煙デーに始まる一週間を「禁煙週間」として決めました。

たばこ関連の病気

たばこの煙には、依存症の原因となるニコチンのほか、タールや一酸化炭素、ヒ素やカドミウムなど、200種類以上の有害物質が含まれています。

【喫煙による長期的な影響】

- ・肺がん
- ・脳卒中
- ・副鼻腔がん
- ・心筋梗塞
- ・子宮頸がん
- ・動脈硬化
- ・気管支ぜんそくの悪化
- ・糖尿病
- ・呼吸機能の低下（慢性気管支炎、慢性閉そく性肺疾患など）

妊婦さんの喫煙に要注意！

妊婦の喫煙・受動喫煙は一酸化炭素やニコチンの影響で、様々な危険が生じる可能性があります。また授乳婦の場合では、赤ちゃんが直接煙を吸わなくても、母乳中にニコチンが凝縮されることにより、母乳を飲んだ赤ちゃんに影響があります。

【喫煙による妊婦・新生児への影響】

- ・流産、早産
- ・乳幼児突然死症候群
- ・新生児の低体重化
- ・新生児の将来の肥満、糖尿病

